

IV-53

北見市における都心部駐車場の認知度について

北見工業大学 正会員 中岡 良司
J R北海道 城戸 友仁

1. はじめに

都心部商店街の買物客の空洞化が急速に進んでいる。平成8年12月における日本経済新聞社の調査によれば、全国142市町村の214都心商店街のうち約73%が空き店舗を抱えており、都市規模が小さい都市ほど深刻な状況にある。その最大の原因は大規模小売店舗法(大法店)の緩和に伴う大型店の郊外出店にあることは明白である。

さて、都心部商店街と郊外大型店の最大の相違は駐車場の規模および利用料金にあると言われている。ここから、商店街の買物客離れの原因は、都心部には駐車場が少なく駐車料金も高いためであるという認識が生じている。そこで本研究では、道東の中核都市である北見市(人口約11万人)を対象に、都心部駐車場の現況を把握するとともに、ドライバーへのアンケート調査によって、各駐車場がどれほど市民に知られているか(=認知度)を調査しその特性を分析した。

2. 北見市都心部駐車場の現況

(1) 駐車場の分布

平成7年12月現在、北見市には一般有料駐車場が50ヶ所あり(図-1)、総駐車容量は2,135台である。この容量は、北見市郊外の2つの大型店の駐車容量(それぞれ750台、1,000台)と較べても決して少なくはない。しかし、駐車許可台数30台以下の駐車場が全体の7割を占め、平均駐車容量は約42.7台と小規模であり、中心部全体に点在しているのが特徴である。

(2) 駐車料金

駐車料金の内訳を表-1に示す。基本料金と超過料金の組み合わせにより8種の料金体系があるが、最も多いのは1時間以内が200円、30分超える毎に



図-1 北見市都心部と駐車場分布

100円というタイプ(57.1%)である。他の料金体系においても、2時間駐車で約400円という水準であり他都市と較べても低廉なものとなっている。

さらに、北見市の中心商店街(北見市商店街振興組合連合会)は、昭和59年12月より全国に先駆けて、どこの店舗で買い物をして、市内29ヶ所(全体の約6割)の契約駐車場の駐車料金を1時間分負担するサービスを始めた。また、平成4年には日専連北見会が駐車容量365台の大規模立体駐車場を建設し、

表-1 有料駐車場の駐車料金

種別	基本料金	超過料金	箇所数(%)
A	100円/60分	100円/60分	1 (2.0)
B	120円/60分	60円/30分	1 (2.0)
C	150円/60分	80円/30分	1 (2.0)
D	160円/60分	50円/30分	3 (6.1)
E	100円/30分	100円/30分	8 (16.3)
F	200円/60分	100円/30分	28 (57.1)
G	200円/60分	200円/60分	6 (12.2)
H	210円/60分	100円/30分	2 (4.0)
	計		50 (100.)

買い物の有無に関わらず加盟店で検印を受ければ最大2時間無料にするサービスを開始している。

3. 都心部駐車場利用意識調査

(1) 調査の概要

平成7年10月、現況駐車場の満足度および駐車場認知度を調べる目的で、北見市都心部駐車場利用意識調査を実施した。調査対象者は北見市在住のドライバー 426人であり、市内均一に設定した6調査区において訪問方式により調査票の配布および回収を行った。回収数は372票(回収率87.3%)であった。

調査内容(表-2)は、主に①駐車場探しの経験有無、②4段階評価による駐車場の評価、③マップ回答による駐車場の認知度から成る。本調査の最も大きな特徴は③であり、その具体的な設問内容は図-2の通りである。調査票においては、記入例に示す地図に対応する都心部白地図を掲載した。白地図への回答方法は、「利用したことのある駐車場の位置」と「利用したことはないが場所を知っている駐車場の位置」の2種を●○印で記入するものである。この調査方法の回答可能性は事前にプレ調査を実施し確認を行っている。

(2) 駐車場探しの経験

最初の関心は、一般ドライバーはどの程度、都心部で駐車場探しを経験しているかということである。調査の結果(表-3)、「たびたびある」(14.9%)と「ときどきある」(49.0%)を合わせ回答者全体の63.9%が駐車場探しを経験していた。男女別に見た場合、男性の60.9%に対し女性は69.2%と、女性の方が駐車場探しをより多く経験していた。また、年齢別では、20代が55.4%であったのに対し50代では69.6%と、年齢が上がるにつれ駐車場探しの経験が多くなる傾向が認められた。この調査結果は北見市在住者に限ったものであるから、都心部の地理に不案内な他都市からの来街者においては一層高い数値を示すものと推察される。

(3) 都心部駐車場の満足度

都心部駐車場の満足度に関する調査結果を表-3に示す。網掛け部分は各設問に対して関心の高い回答部分である。

まず、駐車料金に関しては、北見市の駐車料金は上述したように高い水準にあるとは考えられないが、

表-2 利用意識調査の設問項目

設問の目的	設問項目
属性	・性別(男女) ・年齢(年代)
駐車場探しの経験	・経験有無(4段階評価)
駐車場の評価 (4段階評価)	・駐車料金の満足度 ・駐車場位置の満足度 ・駐車場規模の満足度 ・駐車スペースの満足度 ・割引制度の利用程度 ・都心駐車場の総合満足度
駐車場の認知度 (マップ回答)	・利用駐車場の位置 ・知っている駐車場の位置

問5 市中心部の有料駐車場の位置についてお聞きします。

- ① 利用したことのある駐車場に●印をつけて下さい
- ② 利用したことはないが場所を知っている駐車場に○印を付けて下さい。

なお、ご回答にあたって他の地図等を参考にする必要はありません。あなたの記憶の範囲でお答え下さい。(記入例参照)

記入例

- 注 ① 該当する駐車場のおおよその位置に●あるいは○を記入してください。
② できるだけ出入口側に記入してください。
③ ビルや文字と重なってもかまいません。

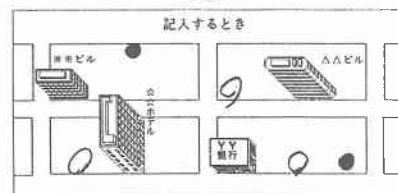
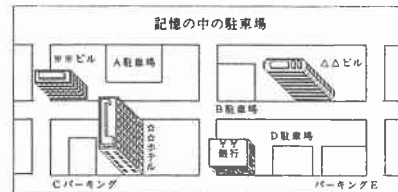


図-2 駐車場の認知度に関する調査票

「やや高い」(56.2%)と「大変高い」(5.5%)を合わせ全体の約6割が高いと感じている。この評価は、無料で駐車できる郊外大型店と比較した結果と考えられるが、一方で、全国的にも先進的な駐車料金の割引制度を「利用したことがない」(36.3%)人が多く、一層割高感を募らせている。

駐車場の位置に関しては、全体の約6割は「まあ分かり易い」と回答している。ただし、これは都心部全体の駐車場の評価ではなく、回答者が知っている駐車場に対する結果である。

駐車場の規模および1台当たりの駐車スペースは、ほぼ同様の結果であり、全体の約9割が不満を持っている。すなわち、約7割が「やや小さい」、「やや狭い」と感じ、約2割が「大変小さい」、「大変狭い」と感じている。既に見てきたように、都心部駐車場の7割が駐車容量30台以下の小規模なものであり、現況を良く反映した結果となっている。

4. 駐車場認知度

(1) 認知駐車場と利用駐車場

都心部駐車場利用意識調査においては、認知駐車場(知っている駐車場)および利用駐車場(利用したことがある駐車場)を調査した。なお、認知駐車場は利用駐車場を含んでいる。それぞれの駐車場の回答者1人当たりの平均ヶ所数を表-4に示す。その結果、回答者全体では、利用の有無に関わらず位置を知っている駐車場は平均10.5ヶ所となった。これは都心部の50ヶ所の有料駐車場の約2割に過ぎず、残り8割の駐車場はその存在すら知られていない結果となった。利用駐車場の場合は平均6.0ヶ所で全駐車場の約1割に過ぎないが、各個人にとっては利用駐車場が特定されているものと思われる。

認知駐車場数を性別で見ると、男性よりも女性の方が2ヶ所ほど多い。また、年齢別では若い人ほど

表-3 駐車場の評価

設 問	回 答			
	回答人数 (%)			
駐車場探し	たびたびある	ときどきある	ほとんどない	まったくない
	54 (14.9)	178 (49.0)	114 (31.4)	17 (4.7)
駐車料金	大変安い	まあ安い	やや高い	大変高い
	3 (0.8)	135 (37.4)	203 (56.2)	20 (5.5)
駐車場位置	大変分かり易い	まあ分かり易い	やや分かり難い	大変分かり難い
	12 (3.3)	215 (58.6)	116 (31.6)	24 (6.5)
駐車場規模	大変大きい	まあ大きい	やや小さい	大変小さい
	1 (0.3)	46 (12.6)	248 (67.9)	70 (19.2)
駐車スペース	大変広い	まあ広い	やや狭い	大変狭い
	1 (0.3)	38 (10.3)	245 (66.6)	84 (22.8)
割引制度	いつも利用	ときどき利用	利用したことがない	
	48 (13.0)	176 (47.7)	145 (39.3)	
総合満足度	大いに満足	まあ満足	やや不満	大いに不満
	5 (1.4)	94 (25.9)	220 (60.6)	44 (12.1)

表-4 認知駐車場と利用駐車場のヶ所数

属 性		認知駐車場	利用駐車場
回答者全体		10.5	6.0
性 別	男 性	9.8	5.4
	女 性	11.8	7.1
年 齢	～20代	12.1	6.8
	30代	11.6	6.5
	40代	9.5	5.8
	50代	10.4	5.7
	60歳～	8.8	5.3
駐車場探し	たびたび有る	11.3	6.9
	ときどき有る	10.5	6.0
	ほとんど無い	10.3	5.7
	まったく無い	8.8	4.8

良く駐車場を知っている傾向にある。前述の駐車場探しの経験別では、たびたび有る人ほど良く駐車場を知っている結果となったが、これは逆に必要に迫られて多くの駐車場の位置を学習したためと考えられる。

(2) 駐車場の認知度

上記の回答結果を駐車場単位で集計することによって、各駐車場の知られている程度を数値化することが可能である。本研究では、それを駐車場認知度と呼び次式で定義する。

$$\text{認知度 (\%)} = \text{認知人数} / \text{全回答者}$$

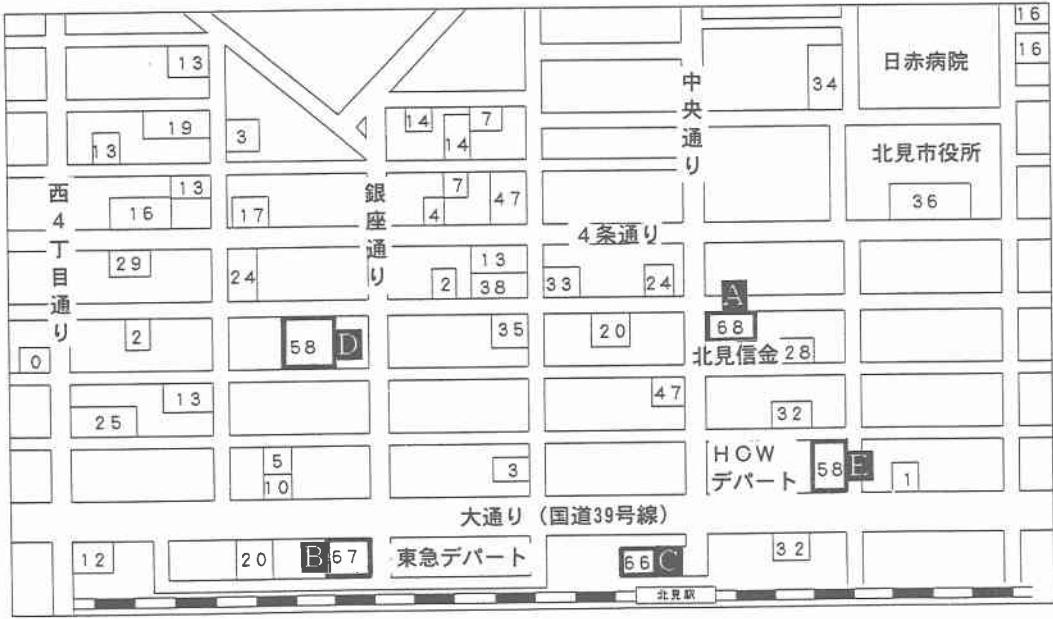


図-3 駐車場の認知度

注：数値は認知度（%。小数点以下省略）

図-3に各駐車場の認知度を示す。平均認知度は22.8%である。認知度50%を超える（すなわち半数以上に知られている）駐車場は、全50ヶ所の駐車場の内、5ヶ所（図中、認知度の高い順にA～E）のみである。これらの駐車場の特徴は、市内で最も交通量の多い大通り（国道39号線）添いの駐車場（B、C、E）、市内で最大の駐車容量を誇る駐車場（D）、市内有数の銀行併設の駐車場（A）となっている。

(3) 認知度と駐車容量、交通量

駐車容量の大きい駐車場はそれだけ利用者も多いわけであるから、駐車容量と認知度は高い相関関係にあると思われる、作成した散布図が図-4である。その結果、2ヶ所しかない駐車容量100台を超える大型駐車場の認知度はいずれも高いが、100台以下の駐車場においては両者の関係は明確ではない。

さらに、路線単位で集計した結果、交通量の最も多い国道39号線は高い認知度を示したが、交通量の比較的少ない通り（3条通り）の認知度も高く、認知度は必ずしも交通量に比例している訳ではない。

5. まとめ

- ① 北見市都心部には一般有料駐車場が約2,000台あり十分な駐車容量があるが、小規模な駐車場が

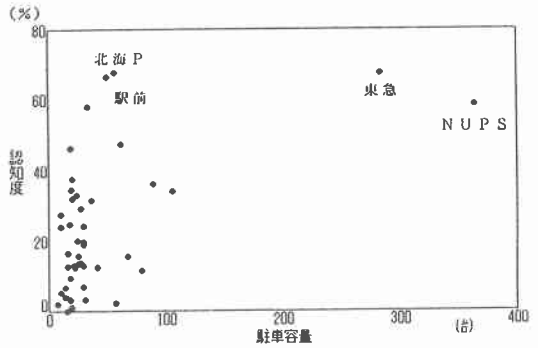


図-4 駐車容量と認知度

点在している。

- ② 利用意識調査においても、駐車場の規模および駐車スペースに不満が集中している。駐車料金への不満も多いが、先進的な割引制度が市民に十分浸透していない。
- ③ 小規模散在型の駐車場を背景に、駐車場の平均認知度は22.8%であり、これは各駐車場が約2割のドライバーにしか知られていないことを意味している。また、過半数が駐車場探しを経験している。今後は、簡易な駐車場案内システムの導入を検討するとともに、長期的には大規模駐車場への整理統合が必要である。